

ブドウ醸造用品種への垣根仕立て法の導入効果

【1 成果の概要】

- (1) 垣根施設の設置費は、長梢棚施設（露地）と比べておよそ 87% となり、低コストでの施設設置が可能となります(表 1)。
- (2) 垣根栽培では、主要管理作業時間が長梢棚栽培と比べておよそ 38% となり省力的です(表 2)。
- (3) 垣根栽培では、定植 2 年目から収穫が可能、定植 5 年目には 500~800kg/10a の収量となり、早期から収量が得られます(図 1)。

表 1 ブドウ栽培施設設置に係る資材費

施設名	被覆 ^{※1} 有無	資材費 (千円 /10a)	苗木代 ^{※2} (千円 /10a)	合計 (千円 /10a)	対照比 (%)
垣根施設	被覆 ^{※3}	1,005	210	1,214	87.1
(対照) 長梢棚施設	露地	1,359	34	1,394	100
(参考) 長梢棚施設	被覆	2,580	34	2,614	—
(参考) マズレインカット	被覆	2,297	157	2,454	—

※1 資材費は、H29.12.15 現在の単価で算出。

※2 苗木本数は垣根施設 200 本、長梢棚 33 本、マズレインカット 150 本で試算。

※3 簡易的な雨よけとしてレインプロテクション(プロテクションシート P0330×100m)を行った。

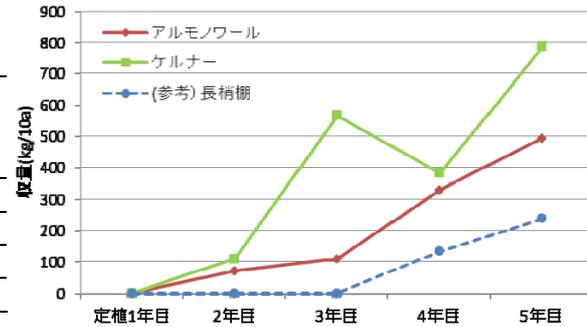


図 1 垣根栽培における収量推移 (10a 換算)

※参考：長梢棚露地栽培「巨峰」収量(北上市)

表 2 ブドウ仕立て毎の管理作業時間 (10a 換算)

単位：時間

栽培様式	せん定	結果母枝 誘引	芽かき	新梢 誘引	摘心・ 副梢かき	収穫 ・調整	合計
垣根仕立て ^{※1}	5.2	1.1	1.7	7.2	7.9	27.7 ^{※2}	50.7
(対照) 長梢棚 ^{※3}	26.4	12.0	9.6	20.4	9.6	54.0	132.0
対照比 (%)	19.7	9.2	17.7	35.3	82.3	51.3	38.4

※1 垣根仕立ての作業時間は H27、H28 の平均。

※2 垣根仕立ての収穫・調整時間は、10a あたりの想定収量 1.0t で算出。

※3 対照は、岩手県農業技術体系 生食用ブドウ長梢棚平棚栽培による。

実証圃の栽培状況(陸前高田市)

- ・植栽距離 樹間 2.0m×列間 2.5m
- ・樹形 ギョ・ダブル
(長梢を 2 本左右に倒して仕立てる樹形)
- ・導入品種：アルモノワール、ケルナー

※アルモノワール：耐寒性強

熟期 9 月下旬～10 月上旬

果房重 200g 前後

※ケルナー：耐寒性強、べと病にやや弱い

熟期 9 月中旬～下旬

果房重 300～400g

- ・簡易的な雨よけとしてレインプロテクションを実施



図 2 実証圃の栽培状況



図 3 ギョ・ダブル樹形

図 4 導入品種

【2 留意事項】

- (1) 「ケルナー」のような 1 果房重の大きい品種においては、着果負担軽減のために 1.0 房/新梢程度に着果制限をかけるのが望ましいです。
- (2) レインプロテクションを行うことで、降雨時の果房の濡れが少なく、病害の発生軽減が期待できます。また設置時期は、6 月(開花期)～7 月までに行うのが効果的です。
- (3) レインプロテクションは、房のみの雨よけのため、防除等は従来通り行ってください。
- (4) その他栽培方法等については、「ブドウ新品種の導入による新たな加工品開発マニュアル」(H30 作成)を参照してください。

※本研究は、農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」採択課題「ブランド化を促進する果実等の生産・加工技術の実証研究」に基づいて実施されました。

担当研究室 技術部 果樹研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田 20-1 TEL. 0197-68-4419 FAX. 0197-71-1083